

ディスカッション

～IANA機能監督権限移管および
ICANNの説明責任向上に関して～

2015年4月14日
第42回ICANN報告会

その他ccTLDに関連する話題(1/2)

(1) IANA監督権限の移管

- CWGより状況共有
 - 4つのモデルで検討中
 - ✓ IANAとの契約主体をICANNの中においたInternal Model
 - ✓ IANAとの契約主体をICANNの外に置くExternal Model
- ccTLDでの議論参画状況
 - 全体としてはInternal Modelが支持される傾向
 - External Modelは新たなガバナンス、アカウントビリティの問題を生じさせる
 - ccTLDからの意見いくつか
 - ✓ FoIに変わる新しいポリシーができることに対する危惧
 - ✓ ccNSO会員のみでなくccTLDレジストリ全体で意見形成する必要があり、引き続き地域ccTLD連合との連携が重要

その他ccTLDに関連する話題(2/2)

(2) ICANNアカウントビリティについて

- IANA監督権限の移管に関連するアカウントビリティについては、ccTLD独自の観点があり、委任/再委任に関してccTLDレジストリ達が主体となり急ぎ検討する必要があるとの認識

IANA監督権限移管ならびにICANN説明責任

- RySGからは、以下の各位が、IGC、CWG、CCWGにメンバとして参加中
 - ICG (IANA Stewardship Transition Coordination Group)
 - ✓ Keith Drazek (Verisign)
 - ✓ Jon Nevett (Donuts)
 - CWG (Cross Community Working Group to Develop an IANA Stewardship Transition Proposal on Naming Related Function)
 - ✓ Jonathan Robinson (Afilias: Co-Chair)
 - ✓ Donna Austin (ARI)
 - ※この他、Chuck Gomes (Verisign)、Stephanie Duchesneau (Neustar) Sarah Falvey (Google)らも”Participant”として活動に積極的に参画。
 - CCWG (Cross Community Working Group on Enhancing ICANN Accountability)
 - ✓ Becky Berr (Neustar)
- 各参加者から、随時、MLや電話会議において、検討状況について共有が行われている。
- シンガポール会合においても、状況の報告が行われた。

Intellectual Property Constituency(IPC)とIANA Transition

- 状況は追っている。
- テレコンファレンスでは話題になる。
- 特に意見等はしていない。

→現時点で影響はないため静観している。

Business Constituency (BC) とIANA Transition

- 状況は追っている。
- 特に意見等はしていない。

I don't think this should alarm global stakeholders or the ICANN working groups already planning the IANA transition. We have lots of work to do and aren't depending on NTIA funds to help us. And given the aggressive timelines we saw on yesterday's initial call for the Accountability project, we may need the extra time an IANA extension would allow.

-Steve DelBianco

<http://forum.icann.org/lists/bc-gns0/msg04169.html>

- IANA Transitionの重要性は理解しているが、自身のレジストリ運営への直接的な影響が不明確
- 具体的な影響を示すこと、BCやIPC等ビジネス関係者を巻き込む議論が必要
- ブランドTLD向けのラウンドテーブルが中止となるほど、企業によるICANNへの関心は低い
- ICANNへの関心向上が当面の課題であると考え

At-Largeの活動

- At-Large Ad-hoc WG on IANA Transition
 - Open membership
 - Chair: Olivier Crépin-Leblond
 - 2014年8月14日より活動開始し、週1回以上の遠隔会議(Adobe Connect)を行っている。
 - ICG, CWG, CCWGメンバーも参加している。
 - ICG, CWG, CCWGの議論内容のおさらいとAt Largeとしての提言事項議論
 - Webinarにより、それまでの議論内容のおさらいも行っている。
 - Chairが参加者にCWG, CCWGの活動に積極的に参加するように働きかけている。
 - CWGのRFPあるいはDTへの参加
 - CCWGにおけるWPなどへの参加
 - CCWGの活動がCWGとの関係が強くなったことから、名前を変更
 - At-Large Ad-hoc WG on IANA Transition & ICANN Accountability

At Largeの活動 (つづき)

- Accountability
 - IANA移管と関係なくAccountabilityはATLASIIの議論項目の一つ
 - Thematic Group 4: Thematic Group on ICANN Transparency and Accountability
 - Chair: Avri Doria and Hong Xue
 - ICANN52 (シンガポール)では、ALAC (At-Large Advisory Committee)とICANN CEO+Boardによる会議を行った。
 - IANA機能移管に関するICANN Accountability
 - ATLASIIIにおけるdeclaration事項の実装状況について

ICANNの提言



ICANN Accountability Mechanisms Available to the ICANN Community

ICANN has a proven commitment to accountability and transparency in all of its practices. In order to reinforce this transparency and accountability, ICANN has established accountability mechanisms for the review of actions (or inactions) taken by ICANN's Board of Directors or staff. When a member of the community believes that the member has been materially affected by a Board or staff action (or inaction), there are accountability mechanisms available to the member. The correct mechanism to use is based on the nature or basis of the complaint and whether the challenged action (or inaction) was taken by the Board or staff.

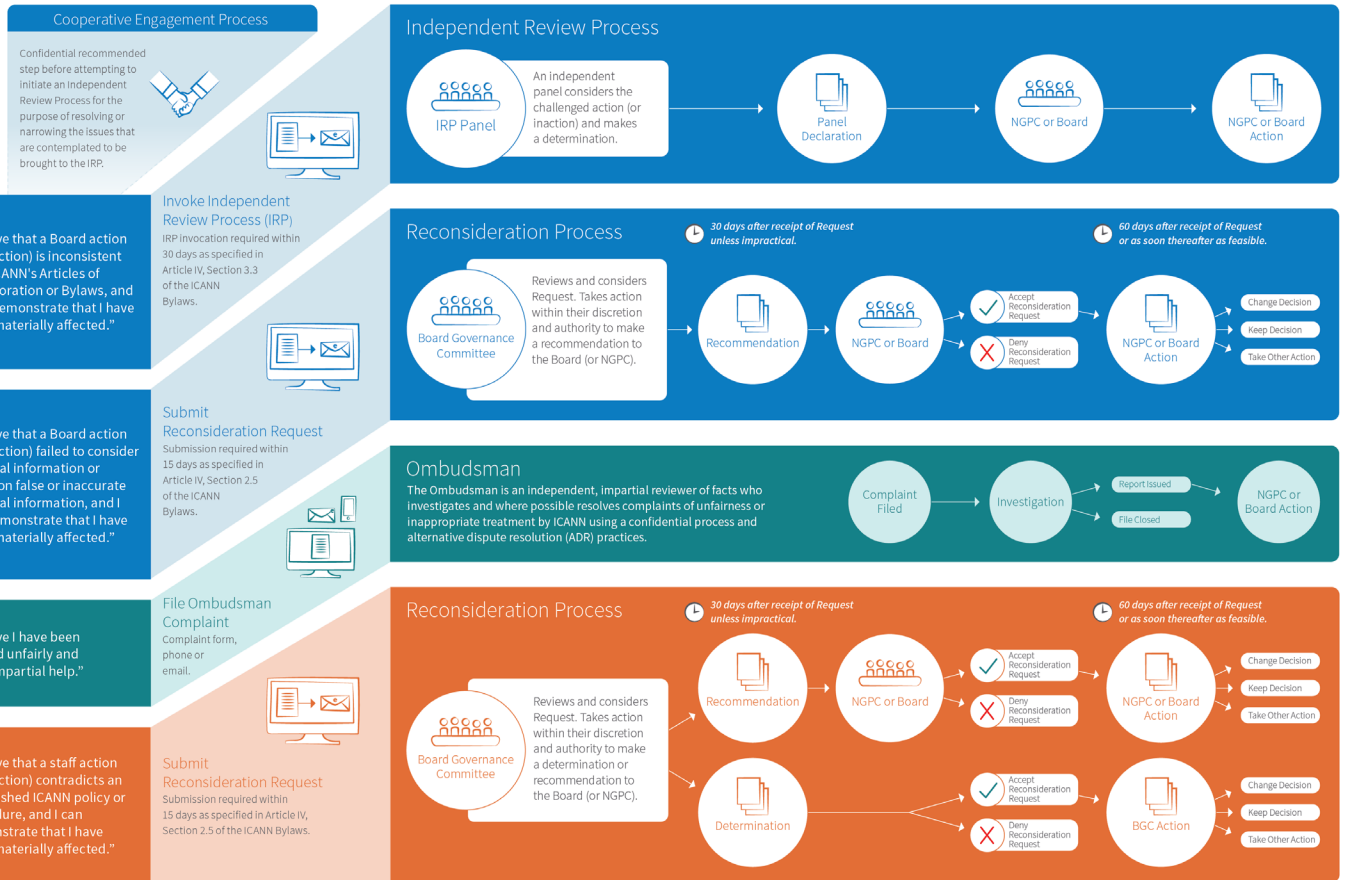
For more details on ICANN's accountability mechanisms, please refer to Articles IV and V of the ICANN Bylaws.

"How do I challenge an action (or inaction) made by the ICANN board?"

"How do I challenge an action (or inaction) made by ICANN staff?"



Individual or Entity



IRP (INDEPENDENT REVIEW PROCESS) PANEL

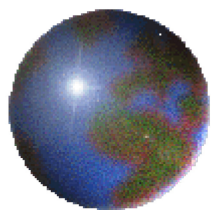
A group of independent subject matter experts convened as part of any Independent Review Process that is charged with comparing the challenged action (or inaction) of the Board to the Articles of Incorporation and Bylaws, and with declaring whether the Board has acted consistently with the provisions of those Articles of Incorporation and Bylaws.

BGC: BOARD GOVERNANCE COMMITTEE

The BGC is comprised of ICANN Board members and is responsible for a variety of Board-related activities that are identified in its Charter. The BGC is responsible for, among other things, considering and responding to Reconsideration Requests submitted to the Board pursuant to ICANN's Bylaws.

NGPC: NEW gTLD PROGRAM COMMITTEE

The NGPC is comprised of ICANN Board members and has all the powers of the Board, subject to any limitations in law, the Articles of Incorporation, Bylaws, or ICANN's Conflicts of Interest Policy. The NGPC is responsible for making strategic and financial decisions relating to ICANN's New gTLD Program for the current round of the Program and as related to the Applicant Guidebook.



IANA機能の管理移管 政府諮問委員会での対応

2015年4月14日

総務省 データ通信課

山口 修治

■ GACにおける議論

- GAC会合に参加したストリックリングNTIA長官より、
 - 本年9/30が目標期限であるが、これがデッドラインではないこと(4年延長可)
 - コミュニティでの議論が尽くされた提案が望ましいこと
 - 提案に対する米議会の承認は不要なこと等が説明。
- GACは、『IANA機能の管理移管』を会合間の最重要課題と認識し、**CCWG及びCWGの検討に向け、GACとして入力すべき包括的原則を会合間にアップデートしていくことで合意。**

2015年3月23、24日のCCWG F2F会合に先立ち、3月23日、GACは、以下をCCWGに入力。

■ICANNは、とりわけ以下を提供しつつ、基本的な原則に沿って運用すべきである。

- ・その限られたマンドートの簡潔な説明及びそのマンドートの範囲内で運用するという明確なコミットメント。
- ・インターネットの運用上の安定性、信頼性、セキュリティ及びグローバルな相互接続性を保ち、高めること。
- ・**公共政策課題**に関して**政府諮問委員会の助言を十分に考慮**しつつ、透明で、ボトムアップなポリシー策定プロセスに寄与する、先進国及び途上国の代表を含む、**世界中のステークホルダーのコミュニティで構成される非営利組織**としての、**マルチステークホルダーの特質の保証**。
- ・チェックアンドバランス、利益相反に関する強化されたルール、グッドガバナンス及び明確に実施可能で、透明で、効率的で、検証可能で、説明可能なメカニズム。これらの原則に一貫して、ICANNは、予測可能で、透明で、必要で、十分なポリシーを持つべきで、効果的なコンプライアンスの監視及び執行のメカニズムを設けるべき。
- ・**ICANN**は、その主要なガバナンスの構造・プロセスの、コミュニティ主導かつ独立なレビューを伴った、**継続的改善の原則に基づくべき**である。
- ・インターネットの運用上の安定性において、グローバルな公共の利益に奉仕する義務。公共の利益の観念は、ICANNのプロセスによって影響を受ける異なるコミュニティの広範な利益を包含するものとして見なされるべきであり、ある特定のグループ又はステークホルダーの利益及び目的に限定されるべきではない。この点で、**ICANNは、オープンで、包括的であるべきで、ある特定の部門又はコミュニティの利益によるキャプチャを妨げるセーフガードを持つべき**である。
- ・**国際法及び人権の原則並びに検討中の事項に適用可能な国内法を十分に尊重する義務**。ICANNは、インターネットガバナンスにおける(公共の)利益を持った他の国際的及びグローバルな組織との肯定的な対話の一部として、そのマンドートの範囲内の課題に関して情報共有にコミットすべきである。
- ・**文化、性別、地理及び言語の多様性**及びその全ての活動を促進すること。

■説明責任へのICANNのコミットメントにより効率的に合致するように、適時性、効率性、値ごろ感、中立性及び独立性を考慮に入れつつ、レビュー、再検討及び矯正のための**ICANNのメカニズムは、継続的に改善されるべき**である。

■同じように、GACは、CCWGが、**関係者及びICANNに適用可能な司法権の管轄の違い**に関連する、**ICANNのミッション及び説明責任に関する事項を策定**するという見解である。

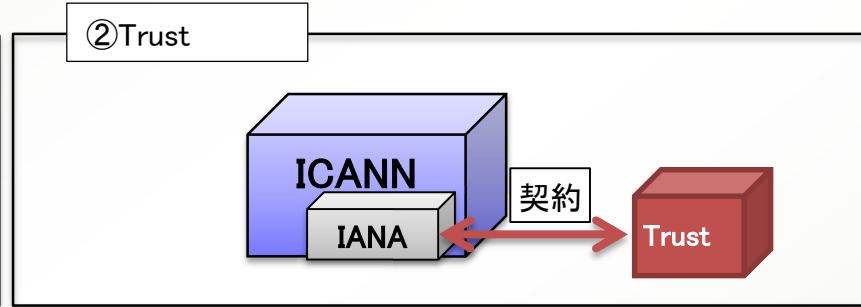
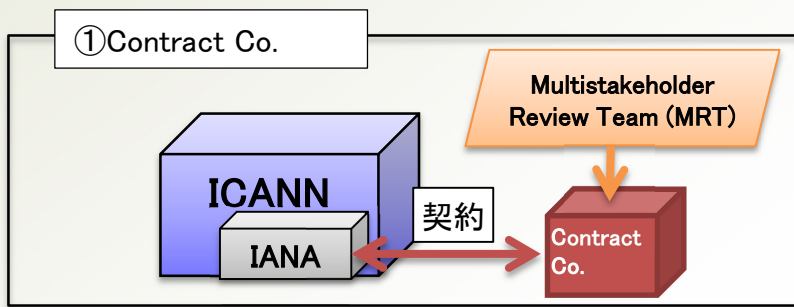
2014年10月のロサンゼルス会合以降、CWGでの議論に向け、以下を準備。(※1)

(※1) CWGの「ネームに関する決定の根拠となる原則及び条件」の策定にあたり、GACが考慮した事項。

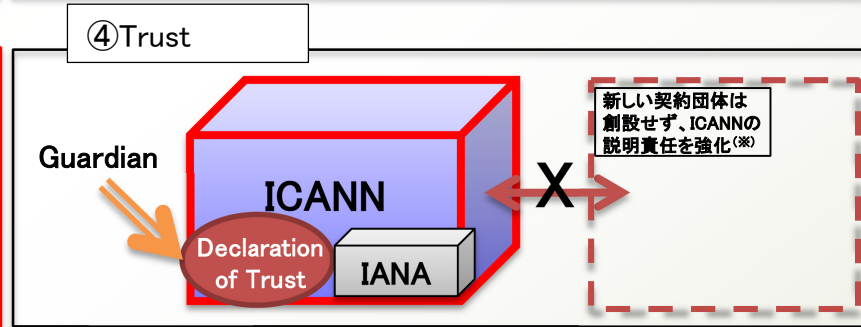
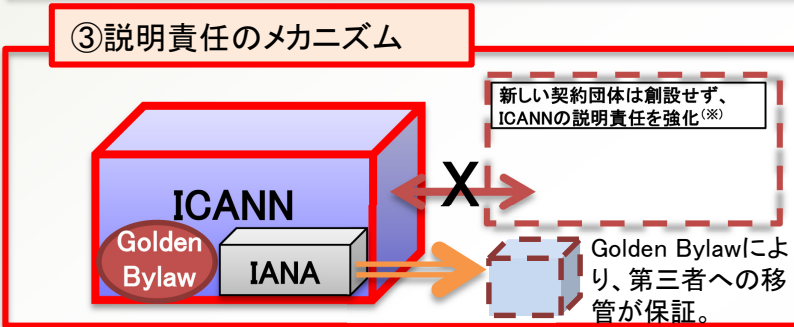
- ・IANAに関連する**ポリシー策定**は、組織の機能と役割を分離することによって、**実施プロセスから区別化されるべき**。
 - ・**独立**のチェック&バランス並びにレビュー及び矯正のための**メカニズム**が存在するべき。
 - ・IANA運用者は、安定的で予測可能なサービスを提供するべき。
 - ・**ICANN**は、全てのIANA機能を運用し、監督し、実施する、予測可能で、透明で、**必要十分なポリシーを持たなければならない**。
 - ・IANA関連のポリシー策定は、**マルチステークホルダーの関与**を含み、実施のプロセスから区別化されるべき。
 - ・ICANNは、**説明責任がある正当な国際組織として改善される**方向で、IANA管理移管提案を促進すべき。
 - ・ルートゾーンの**オーソリティファイルの管理のメカニズム**は、**オープン性、公平、公正**の観点からアレンジされるべき。
 - ・**ccTLDに関連する委任・再委任の決定は国内の規則に基づくべき**であり、第三者による介入は不可能であるべき。
 - ・**移管**は、漸増的であるべきであり、**実施前に検証**されるべき。
 - ・**新しいガバナンスのメカニズムは、インターネットの機動性及び柔軟性に過度な負荷をかけるべきではない**。(※2)
- (※2) 「ネームに関する決定の根拠となる原則及び条件」中、「**いかなる新しいIANAガバナンスのメカニズムも、過度な負担となるべきでなく、目的に合致するべき**」として反映。

3月のスタンブールF2F会合の結果や法律の専門家によるアドバイスの結果を踏まえ、**③説明責任のメカニズム (内部モデル)** 及び**⑤IANAの子会社化 (ハイブリッド)** のモデルを積極的に追求することが合意。

外部モデル



内部モデル



ハイブリッド／統合モデル

